

【緑地の樹】

クリ <栗>

プロフィール：ブナ科 クリ属

中央広場の奥の方に何本もあります

栗は高さが15～20mになる、ブナ科の落葉高木です。春にはクリーム色の10cmくらいの稲穂のような花をつけます。この花にはあまい香りがあり、少しくせを感じます。人によれば青臭いという人もいます。

西緑地には、中央広場に植わっています。Sさんのお好きな木です。幼木を植え続けたという話を聞いています。

クリの木は、材木としては、枕木として利用されてきました。今ではほとんどコンクリートに変わっていますが。そのほか、心材（木の表面が朽ちて残った部分）は丸太材として、微妙に曲がっていたりして面白い味があるためか、茶室廻りの柱として利用されています。



8月～9月に実が落ち始めます。Uさんの作られた渋皮煮を大変おいしくいただきました。食べるだけでなく、姿まで楽しませてくれる技には感心します。

(伊藤)



クリの雄花